

1号議案 令和5年度事業報告

1. ネパールに於ける栄養士に関する調査を実施

近い将来ネパールに於ける栄養教育を充実させるために栄養専門学校の設立と栄養士の国家資格制度の構築に参考資料とするため調査を実施した。

-調査要綱

-目的；ネパールに於ける栄養士に関する教育及び職業分野についての問題点の発見を主として、特に栄養士の国家的認定許可制度の欠落による社会制度の問題点の現状を把握する

-調査対象 栄養学部卒業生 44名

-①Central Campus of Technology in Dharan 卒業 38.6%

-②Padma Kanya Campus 卒業 56.8%

③CAFODAT college Patan 4.5%

-・地域 Kathmandu 盆地の内部 35% 外部 65%

-・年齢 20.-25 14% 26-30 51.2% 30-35 25.6% 35以上 9.3%

-調査方法 Online Survey Methods

調査期間 2023年8月

調査結論

- ① この調査で、栄養学分野には多くの欠陥要素があるので、変革の必要があることが分かった。注目される大問題は栄養士に対する許可制度が抜けていることであり、栄養士が職場や一般社会で技術を持った人材として認識してもらえないのがこれまでの現実である。大学の卒業生が本来のあるべき姿の仕事に就いていないので、現状は決して満足すべきもではない。各病院は医師や看護師とともに、少なくとも二人の栄養士を持つべきである。調査でも栄養士の殆どの人は病院の栄養士として働いているが、病院の食堂の栄養士として働いているのはほんの僅かしかないことが分かった。
- ② 病院では殆どの栄養士は人体測定をして、入院患者や通院患者のために食事表を準備している。そのうち何人かは、集中治療室の患者のために、朝食ばかりでなく健康的な食事管理のために働いているにすぎない。
- ③
- ④ 病気の予防や制御のための療法として栄養学を活用することは栄養士にとってはこの上ない喜びだと希望はもっている。しかし、ネパールでは全ての食事計画は医師によってなされるので栄養士の居場所がなく、栄養士は尊敬されず厚遇されないのである。また、病院の研究室・実験室には最新の技術や設備が欠けている。
- ⑤ 栄養士たちははっきりと言っている。「患者の人々は病気からの回復や健康であるために薬と医師にどっぷり浸かっているので、暮らし方を変えようと適正な食事表や食事相談しようと思っても、栄養士の重要性について全く無知である」と。
給料の安さや労働制約もまた、病院の栄養士になる不利な点の一つになっている。

2. ネパール留学生への生活支援の継続

経済的支援のため、今年度もフジッコ株式会社から 100 万円の資金援助を受ける。

3. 留学生の日本生活の Q of L 向上のために新年会パーティ

- ・ 場所 熱田理事長宅別館（寝屋川市太秦中町）
- ・ 日時 2024 年 1 月 3 日 12 時～16 時



・ 食事風景

実質的なホスト役は理事長の妻・熱田昭子で、正月三が日の日本のおせち料理の他にちらし寿司を 10 人分ほど、朝からせつせと準備していた。しかし、留学生のお目当ては昭子式「お好み焼き」だと聞いているので、キャベツをはじめ食材をスタンバイしていた。

正午すぎにネパール留学生 3 人とネパールお姉さん株の人の四人が到着。早速、おせち料理を別館に運んでもらい、パーティに入った。日本の伝統的な料理としておせち料理をきれいに並べて昭子が説明すると、彼らの手が伸びた。併せて大きな鉢に盛ったちらし寿司にも手がでて空になった。昭子はお好み焼きが本命なので、大分残ると思っていたのでびっくり！彼らもお寿司を食べ慣れつつあるのだなと感心するのであった。同席した水野事務局長も彼らの健啖家ぶりに呆れていました。

4. 留学生の大阪市民マラソンに初参加、42.195Km 完走で思い出と PR に貢献



ネパール留学生大阪マラソン 2024 で完走 熱田応援記より

琵琶湖毎日マラソンと合併した大阪マラソン 2024 は今年で 3 年目、大阪府庁前から出発して大阪城公園着とする 42.195 キロのコースで行われた。今回は 24 年パリ・オリンピックの日本代表を選考する対象レースになっているので、トップランナーが基準時間 2 時間 5 分 50 秒をクリアできるかどうか話題になっていた。(結果は 6 分台に終わった) 一方、参加する市民ランナーの話題として、当法人と協力関係にある(社団) アジア協会アジア友の会が市民参加のスポンサーになり、12, 3 名の参加者を派遣させたことである。この中に当法人が支援している 3 人のネパール留学生も参加するとあって、朝から小雨降る中、大阪市肥後橋土佐堀川沿いで 9 時 50 分～11 時 10 分ごろまで応援に立った。ここは出発点から約 9 キロ地点にあり、既に先頭の選手集団は過ぎて居るのに、ところ狭しと市民が帯のように続いていた。参加者に呼びかけは難しいと思っていたら途端、ビスマライさんが寄ってきて「アジア協会のサイトはどこですか」と逆に見つけら二人とは距離があって、エール交換はできなかった。

夕方 6 時に、レジマとビスマが完走 FINISHER のフラッグを持った笑顔のメールが入り、根性と若さを感じた瞬間であった。二人とも 6 時間 20 分台の記録が入ってきた。いい思い出が出来て良かったと思う。

5. カレンダー2024 を制作して会員に配布

会員への挨拶品と資金捻出のため、昨年に続きカレンダーを制作。無料配布と販売をおこなった。

6. 機関紙 SENID ニュース 2023 発行

第3号議案

2024年度の事業計画2

1. ネパール栄養士の日本留学に対する生活支援
 - ① 生活費の一部援助
 - ② 日本語学習のアシスタント
 - ③ 生活における QofL の向上
 - ④ 日本文化への接触と理解
2. ネパール栄養教育の実態調査のフォローアップ
教育機関における栄養教科の授業状況の調査を中心にして
3. 機関紙 SENID ニュース発行
4. カレンダー2025 の制作

第4号議案

2024年度事業会計収支計画

1. 収入
 - ① 寄付 1,000,000 円
 - ② 会費 250,000 円
 - ③ 助成金 200,000 円
 - 合計 1,450,000 円
2. 支出
 - ① 留学生生活費援助 1,000,000 円
 - ② 実態調査 200,000 円
 - ③ 法人運営費 300,000 円
 - 合計 1,500,000 円